

沼倉さん『この距離で…』（4月27日分）

こんにちは！沼倉です。よろしく。

先週、Uber Eats（ウーバー・イーツ）のお話をしましたが、私が Uber Eats の配達員として働いたこともあるんです。今、体育館やスポーツジムが閉鎖してしまって家で時間を持て余していましたし、太ってはまずいとも思ったので、配達員の仕事をやってみようと思いつきました。その時に面白いことがあったので、その話をしますね。

詳細は伏せますが、とある場所から注文の連絡が入りました。プリンの注文でした。店に行ってプリンを受け取った後、注文した人の家の場所を確認すると、お店の目の前にある超高層マンションだったんです。徒歩0分の距離です。わざわざ Uber Eats を使う意味がないんじゃないかとも思いましたがそんなことはありませんでした。

マンションのエントランスはオートロックで、部屋番号を入力して自動ドアを開けてもらいます。中に入ってしばらく行くと、またオートロックになっていました。そこも開けて入ろうとしたのですが、警備員に呼び止められました。ここは居住者専用だから、業者は裏から入ってと言うのです。言われたとおりに裏口に回ると、受付で自分の名前、用件、部屋番号を書かされました。その後オートロックの自動ドアを入り、非常用エレベーターで55階まで上がって指示通りに左に行き扉を開けると、ゴミ捨て場がありました。私はゴミなのかと思いながらもそこを抜けると長〜い通路があり、突きあたりが注文者の部屋でした。無事に届けることはできたのですが、たどり着くまでに15分かかりました。店とマンションの距離は徒歩0分なのに、届けるまでに15分かかってしまったんです。